

みんなで21世紀の未来をひらく

教育のつどい

教育研究全国集会2018 in 長野



絵:土屋美優 「a walk from the darkness.」

2018年 **8月17日** **金**・**18日** **土**・**19日** **日**

憲法と子どもの権利条約がいきて輝く教育と社会を確立しよう

8月17日 **金** 13:00~15:45

・開会全体集会 長野市・ホクト文化ホール (長野県県民文化会館)

記念講演 『憲法改正』が教育をこわす!
~ジャーナリズムの視点から~ 青木 理さん (ジャーナリスト)

現地企画: 全国の仲間とともに歩んできた長野県教育のあゆみを構成。県下全自治体を回って戦争体験を聞き取ったシンガーソングライター清水まなぶさんのミニコンサートも。

8月17日 **金** 17:00~20:00

・教育フォーラム (7つのフォーラム・長野市内)

8月18日 **土**・**19日** **日**

・分科会 (長野市内)

子育てのこと、学校のこと、
みんなで話し合いませんか?

「教育のつどい」は、全国から子育てや教育にかかわる人々が集まって開催される、だれでも参加できるつどいです。

● 資料代:1,000円 ● 全体集会には手話通訳あります。 ● 1歳以上のお子さんを保育します。 保育のお申し込みは7月27日までに事務局へ

※会場へは車ではなく、公共交通機関をご利用ください。

主催:「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい—教育研究全国集会2018」実行委員会

No.	フォーラム名	話し合いたいこと
1	子どもたちにゆたかな“学び”を ～新学習指導要領で子どもと学校は?～	<ul style="list-style-type: none"> ●「道徳の教科化」と高校への「道徳」導入、小学校英語の導入で、子どもの発達には? 各地の状況ととりくみを交流しよう ●幼児教育から高校教育まで貫いて求められる「資質・能力」「育てほしい姿」って何? みんなで考えよう ●大切にしたい、子どもの“育ち”とゆたかな“学び”。そのためにできることは? それぞれのとりくみを交流しよう
2	高等学校における 特別支援教育の あり方を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ●後期中等教育における障害のある子どもたちに保障したい教育課程、教育内容、教育条件について話し合おう ●4月から始まった高等学校における「通級による指導」が、どのようにとりくまれているか、どのような課題があるかを共有しよう ●そのために必要な条件整備、校内の合意づくりのすすめ方、保護者との連携のあり方などを考えよう
3	「豊かさ」ってなあに? ～子ども・若者の権利をいかに～	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども・若者の「貧困」の実態や現状を出し合って、成長・発達の課題について話し合おう ●教育費や働き方を通して、子ども・若者の豊かな生き方を考えてみよう ●子ども・若者の居場所づくりのとりくみや運動を交流しよう
4	「こうあるべき」からの脱出 ～多様性と共生について考えよう～	<ul style="list-style-type: none"> ●問題提起のミニ講演「多様性と共生について考えるために」 ●「〇〇スタンダード」で子どもたちは? いっしょに考えよう ●子どもたちの自主的なとりくみを保障する地域と学校づくりを交流しよう ●学校・地域でのジェンダー平等・LGBTについて学び、考えよう
5	「学校」って? 子どもにとって、地域にとって	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもたちにとっての学校、地域にとっての学校について考えよう ●まちづくり、地域づくりを柱に、統合合問題について学び、考えよう ●子どもをまん中に、家庭・地域・学校の共同を広げるとりくみを交流しよう
6	3・11から7年半 ～被災地の今と、私たちに 求められているもの～	<ul style="list-style-type: none"> ●今、原発問題・原発ゼロのたたかいを学ぶ意義を考えよう ●福島第一原発事故から7年半、避難者の困難さ、願いに耳を傾けよう ●被災地の子どもや学校をめぐる実態を知り、求められているものについて考えよう ●本当の復興とは何か? みんなで知恵を出し合って考えよう
7	憲法を生かす学校・地域を つくる生徒のとりくみと 主権者教育	<ul style="list-style-type: none"> ●生徒の学校運営への参加(三者協議会)や社会参加活動のとりくみを交流しよう ●日本の若者の主権者意識の現状と主権者教育の課題、海外の若者の社会参加活動と主権者教育を知ろう ●全国各地の三者協議会やフォーラムのとりくみを交流し、広げていくためにどうすればいいか考えよう

○子どもと教育について、憲法と子どもの権利条約の視点を大切にしながら、保護者や地域住民、教職員、教育関係者がともに語り合しましょう

教育のつどい2018 分科会

教育研究全国集会2018 in 長野

8月18日(土) 10:00~17:30・19日(日) 9:30~16:00



1 国語教育

学力テストの問題が解け、アクティブラーニングの学習形態を展開することが国語の授業や学力であるという気分の醸成が広がっています。改めて、国語科は何をする教科なのかみなさんと考えたいと思います。

2 外国語教育

いま英語教育は「グローバル人材」養成の道具とされています。すべての子どもたちに、平和な世界を創造する力を保障する外国語教育の実践を交流しましょう。

3 社会科教育

改訂学習指導要領で社会科教育の学習観が大きくゆがめられようとしています。今こそ、全国の実践をもとに批判的に検討しましょう。

4 数学教育

子どもたちにとって本当に必要な「数学の学び」とは何か？ 生き方につながる数学とは何か？ 各地の実践をもとにみんなで話し合しましょう。



5 理科教育

改訂学習指導要領を視野に入れ、子ども・青年の自然・モノ離れを克服し、科学的根拠に支えられた本質的学びを育てる理科教育のあり方を探しましょう。

6 美術教育

子どもたちの表現に寄り添い、実践を読みひらき、表現者を育てる美術教育をみんなで考えます。日々の実践を持ち寄って、全国の仲間と交流しましょう。



7 音楽教育

音楽の授業は、教材を共に子どもと教師が心を通わせ共に育つ場です。一人ひとりの想いや表現を受け止め、喜びあふれる授業をめざして学び合ひましょう。

8 書写・書教育

会場に入ると「ワー大変」という声があがります。持ち寄った作品から子どもたちの叫びが聞こえてきます。さまざまな表現を通して、子どもの成長を話し合います。

9 技術・職業教育

主体的・対話的で深い学びは、「技術・職業教育」に内在しています。全国の実践報告から実感を伴った学びとして共有し、さらに深化した内容に高めていく分科会としていきます。

10 家庭科教育

子どもたちが、ありのままの生活を見つめ、考え、いのちと暮らしを守るためにどうしたらよいかを考え合います。学習を社会とつなげ、主権者として生活できる学びを探っていきましょう。



11 体育・健康・食教育

子どもの貧困と生活困難を背景とするからだところの育ちの実態をふまえ、すべての子どもの発達を保障する体育の授業、健康教育(学校保健)、給食と食教育のとりくみについて、実践報告をもとに討論をおこないます。

12 生活指導・自治的活動

さまざまな課題を抱えた子どもたちに、教師としてどう向き合うか。自治的活動を通して、子どもたちの前向きな力をどう引き出すか、深めていきましょう。

13 発達・評価・学力問題

教室の子ども姿を通して、学力あるいは学力の基礎とは何であり、それを育てるために大切にすべき発達の課題や評価について、学び考え合ひます。

14 障害児教育

「発達・学習権保障の道を強くすすもう」をテーマに、全国から42本のレポート報告・討論をもとに、子どもから出発する障害児教育について深めます。



15 幼年教育と保育



子どもも大人も主体的な保育・教育をすすめるために大切なことは……。幼児・小学校低学年の姿、職場の運動から考えていきましょう。

16 思春期・青年期の進路と教育

子ども・青年の生きづらさはどこから生まれているのでしょうか。入試制度、学校、支援のあり方を検討し、未来につながる教育実践について学び合しましょう。

17 ジェンダー平等と教育

ジェンダー平等の教育は、だれもが自分らしく幸せになる社会をめざすことにつながります。共に関心を育み、語り合い、学び合しましょう。

18 子どもの人権と学校・地域・家庭

子どもをめぐる状況や教育実践、子どもの考え方を互いに出し合い、考え合います。また、子どもの学習権や人権を取りもどすための議論を深めます。

19 平和と国際連帯の教育

「9条改憲」をすすめる等、平和と民主主義をふみにじているのが安倍政権です。この分科会に集い、平和な社会をいかに実現するか学び合しましょう。

20 学校づくりへの子どもの参加、 父母・教職員・地域の共同

子どもを中心とした教育の当事者が学校づくりの合意から遠ざけられる動きの中、したたかにすすめられている学校・地域づくりの挑戦を交流し学び合います。

21 教育条件確立の運動

教職員の働き方と労働安全衛生、子どもの貧困と就修学保障、ゆきとどいた教育のための教職員定数や教職員研修のあり方など、教育条件確立の諸課題についてともに考えましょう。

特設① 「道徳教育」のあり方を考える

小学校で始まった「道徳科」、中学校教科書。そこにはどんな問題があり、実践的にどう乗り越えればいいのか、全国の参加者と交流しながら検討します。

22 環境・公害問題と教育

環境が人に与える影響について、調査報告を通じて考察し、さらに原子力関連施設立地地域の教育をめぐる諸問題について、共に学び考えていきましょう。

23 文化活動・図書館

子どもたちの生活の充実と健やかな成長を、学校や地域での活動を通して考えます。豊かな文化活動・図書館活動の実践・報告をもとに語り合しましょう。

24 教育課程・教科書



改訂学習指導要領に対して、どのように学習し、どのような実践をつくっていくのかを、小・中・高の実践や学習活動を検討しながら話し合います。

25 登校拒否・不登校の克服

登校拒否・不登校数はますます増え続けています。「教育機会確保法」の3年後見直しを控え、登校拒否・不登校をめぐる教育実践・教育運動のあり方を考えます。

26 国民のための大学づくり ～大学教育と高大接続～

大学改革・新テスト導入など高大接続改革により、高校側・大学側双方がどのような影響を受けるか問題点を話し合います。

27 生活科・総合学習

子どもたちは、地域と豊かにかかわり、自然や歴史、自分の生き方を深く学びます。今もとめられる生活科・総合学習の実践について共に学び合しましょう。

28 今日の教育改革 ——その焦点と課題



安倍「教育再生」による歪みが、地域や学校でさまざま形で現れています。それに抗する各地の運動や実践をもとに、展望を語り合しましょう。

特設② フィールドワーク(19日)

戦没画学生慰霊美術館「無言館」(上田市)と太平洋戦争末期につくられた「松代大本営」地下壕(長野市)を見学します。(事前申し込みが必要、詳細は別途連絡)